

# 特殊金属 チタン板の精密冷延体制確立

## 最薄10マイクロ、電子機器部品向けなど

特殊金属エクセル（本社・東京都豊島区、社長COO・水谷徳次郎氏）は、埼玉事業所（埼玉県比企郡ときがわ町）において、純チタンのチタン薄板・箔の製造を実現させて今年から市場への提供を始めた。高板厚精度で最薄10マイクロ（0.01ミリ）までがメインで、来年から

複数アイテムで量産化採用を計画している。

同社は、ステンレス箔で長年培ってきた高度な技術を軽量かつ高強度のチタン分野に応用。2023年に稼働開始した自社設計の高性能冷間圧延機も活用し、電子機器部品用途を皮切りに市場への提供を始めている。主な板厚は30～100マイクロ。製造実績を積み上げる中で新たな課題を確認・解決し、技術と品質の向上を図りながら、機械的特性のカスタム設計により用途や顧客ニーズに対応している。

今後は電子機器部品、車載関連部品、医療機器（インプラント・外科用部品）、スポーツ用品（自転車・釣り具・ゴルフ用品など）をはじめとする分野への展開を推進する。

